

一般質問通告書(平成 21 年 6 月定例会)

氏 名・答弁先・質問事項	質 問 要 旨
<p>1 2番 村上 和子 1 課長職の人事異動について (町 長)</p>	<p>毎年 4 月、又は 10 月に人事異動が行われており、これまでは行財政改革実施計画のもと、何回か課を統廃合し 10 課 2 専門課長 22 班 2 専門主幹の組織機構体制でやってきたが、今年 4 月の新町長の人事異動の課長職の発令では、建設水道課に新たに課長職のポストを新設して、3 人目の課長職が配置された。ある程度、将来の事業の展望を描きながら、新しい課を作って、課長職の人事異動というのは必要と考えるが、今回の人事異動では、どうもそういった感じが見受けられず、いままで実施してきた行財政改革実施計画に基づく組織機構改革(組織のスリム化)の流れに逆行するワンポイント人事のように見えるが、町長の意図するところを伺いたい。また、今後の人事異動については、今回の人事異動と同じように、複数の課長職が在職する課が混在する人事異動をされるのか伺いたい。</p>
<p>2 商店街支援対策として新法活用による活性化を (町 長)</p>	<p>商店街支援対策として、従来の商店街支援はアーケードの改修などハード事業の支援が中心だったが、現在、経済産業省では、空き店舗を活用したコミュニティ施設の開設や将来の商店街運営を担う人材育成などソフト事業を支援することにより、来訪者の減少など空洞化する商店街を活性化させることを目的とした新法案(地域商店街活性化法)を第 171 回通常国会に提出し審議されている。支援の内容は、商店街を運営する事業者が活性化計画を策定し、認定を受けて、商店街の再開発や集客事業などを行う事業に対して、補助率が従来の 2 分の 1 から 3 分の 2 に引き上げる。また、空き店舗の持ち主が認定事業を行う商店街などに土地を売却した場合、1,500 万円を上限に譲渡所得の特別控除が受けられるなど。これらの新法案を活用して、行政としても商店街支援を行うべきではないかお聞かせ願いたい。</p>
<p>3 商工会のほほえみスタンプ券で公共料金を納付する制度の考えはないか (町 長)</p>	<p>上富良野町商工会のほほえみスタンプ会の加盟店は 37 店あり、そこで買い物をするとほほえみカードに印字され、カード 1 枚満点になると 500 円の金券と交換できる。この金券を使って、町税・固定資産税・水道料・保育料・介護保険料を支払うと役場は商工会から預かった小切手と引き替えて、役場内にある金融機関で現金化をするという、ほほえみスタンプ券で公共料金の支払いが出来る制度の考えはないか伺いたい。</p>
<p>4 清富多世代交流センターの利活用促進の改修計画は (教育長)</p>	<p>清富多世代交流センターの利活用については今年で 3 年目を迎え、自衛隊の銃剣道訓練、清富住民会や放課後プラン授業などに使われているが、体験学習や宿泊研修などに利用しやすいようにするための施設の改修計画(炊事設備や二段ベッド設置など)はないか伺いたい。</p>

<p>5 不登校といじめの現状、予防対策として小学校にも心の相談員の配置を (教育長)</p>	<p>上富良野町の子供の数は減少状態にある中で、不登校の児童・生徒は増えつつあるのではと思われるが、小学校と中学校の不登校生の実態はどのようになっているのか。また、いじめは不登校の大きな原因であるとも言われるが、いじめの実態はどのようになっているのか。</p> <p>中学校に配置されている「心の相談員」に不登校生が相談するようになり、心をだんだん開き教室に足を運ぶことができ、登校するようになった生徒もあり、こういった状況があるので、小学校にも「心の相談員」の配置が望ましいのではないかと考えるが、設置について伺いたい。</p>
<p>2 9番 中村 有秀 1 公民館里仁分館の建て替えについて (町長)</p>	<p>公民館里仁分館は、昭和49年10月に建設され築後35年が経過し、老朽化がひどく進んでいるが、里仁地区の皆様は地域活動の拠点として日夜にわたって住民会・老人会・婦人会等が利用されている。</p> <p>里仁住民会と同規模の住民会戸数・人口で比較すると、富原分館は昭和44年建設の旧分館は築後24年の平成5年8月に建て替えされ、江花分館は昭和46年建設の旧分館は築後32年の平成15年11月に江花開基100年に建て替えされた。</p> <p>里仁住民会では、平成17年9月13日付けで「公民館里仁分館建て替え要望書」を町に提出したが、町の財政事情により見送られて今日を迎えている。</p> <p>要望書提出後の平成18年11月5日に「里仁開基100年記念式典及び祝賀会」が開催されたが、その際にも住民会長をはじめ住民の皆様から、町長・各議員に対し分館建て替えを強く要望された。</p> <p>里仁地区はすばらしい景観に魅せられた観光関連施設の進出と、他地域からの移住もあって大きく変貌を遂げつつある。そのために、地域住民のコミュニケーションを図る拠点としての「公民館里仁分館」の補修等は限界を超えており、建て替えは急務と判断する。</p> <p>町の財政状況が厳しい点は十分承知しているが、建設年度計画を明確にして地域住民の強い要望に応えていくべきと考えるが、第5次総合計画の基本計画策定関係の審議の中でも総合計画の早い時期に建設の方針との答弁があるので、町長の見解を求める。併せて、里仁分館の隣りにある豊郷の家の解体についても伺いたい。</p>

<p>2 日の出公園駐車場の拡張等について (町長)</p>	<p>日の出公園臨時駐車場が永年にわたる農地法第5条違反として町議会にて指摘を受け、平成20年9月下旬に復元された。</p> <p>町の観光事業推進としての日の出公園は中核であり、今後の日の出公園を中心として開催される「かみふらの花と炎の四季彩まつり」及び各種イベント等に絶対必要な駐車場がどうなるのかと町民から不安の声が多く聞かれた。</p> <p>町は、本年5月25日開催の第3回町議会臨時会に用地取得費及び関連整備費を計上した一般会計補正予算を提案したが、賛成5、反対8で否決された。</p> <p>7月26日に開催されるラベンダーを中心とした「かみふらの花と炎の四季彩まつり」が目前に迫っている。イベント関係者や町民の皆様からの不安や苦情が数多く寄せられているが、下記の各項について、町長の見解を明らかに。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本年開催の「かみふらの花と炎の四季彩まつり」の駐車場対策は。 2 日の出公園の直近位置に駐車場がないことによる、観光客及び町民への影響をどの様に判断されるのか。 3 今後の日の出公園での大型イベント等の恒久的な駐車場対策は、どのように考えているのか。
<p>3 11番 渡部 洋己</p> <p>1 中山間地域等直接支払制度導入の考えは (町長)</p>	<p>以前にも質問したが、この制度は平成12年より5年間、その後の5年間の延長があり、平成21年で終了する。しかし、この制度に対する全国的に高い評価で再度延長の要請があり、我が町でも3月定例議会に制度の延長を要望する意見書が可決され、国に要請した。また、石破農林水産大臣もこの制度は恒久的に継続したいとコメントしており、制度の延長があると思われる、上富良野町も中山間地域等直接支払制度の導入の考えは。</p>
<p>2 農業担い手対策は (町長)</p>	<p>近年、世界的な経済不況と言われ、我が国においても企業の閉鎖による失業者の増加など大きな社会問題にもなっている。</p> <p>そんな中、一次産業に対する思いが高まり、特に食料自給率の向上や国産品の見直しにより、農業に対する期待が高まっているようであり、よく耳にする言葉が「担い手」である。農業の担い手とは後継者ばかりでなく、農業に思いを寄せる全ての人を対象にすべきである。近年、離農者の中には、高齢になり後継者がいなくやむなく離農される方もおり、また、立派な経営をされている方もいる。真剣に農業を考える新規就農者がその後をしっかりと受け継いで経営できるシステム作りを考えては、基幹産業の維持と定住、移住対策にも有効と思われるが。</p>
<p>4 7番 一色 美秀</p> <p>1 空き店舗対策について (町長)</p>	<p>現在空いている店舗を物品販売のみならず、展示場等に利用しやすくするよう金銭的に支援するシステムをつくり、一般町民のみならず全国的に呼びかけ入店してもらい、商店街の活性化を図ってはどうか。その他、町としての対策は考えているか説明を願いたい。</p>

<p>2 第5次総合計画について (町長)</p>	<p>本年度より今後10年間のまちづくりの基本構想と計画が策定されているが、上富良野町とはどんなまちなのか、どんなまちにしたいのか、その顔が見えてこない。人口の将来予測だが、自衛隊の削減を対象から取り除いている。少子化・高齢化などの自然現象による推計と自衛隊削減の場合の推計との2本立てで策定しなければ机上の空論である。この点について説明願いたい。</p>
<p>3 教育支援について、子どもたちに本物にふれさせること (教育長)</p>	<p>近年、子ども達のめざましい活躍があり、芸能やスポーツの分野において、一流のアスリート等を招いて、直接、子ども達と接したり、見せることにより、子ども達に大きな夢と希望を持たせたい。そのための具体策はあるか。また、各種部活動に対する資金面での援助は考えているか。</p>
<p>4 上富良野高校の将来について (教育長)</p>	<p>間口削減どころか存続そのものが危ぶまれている現在、町としてどのような対策を立てているのか具体的に説明願いたい。</p>
<p>5 5番 米沢 義英 1 ラベンダーハイツの民間移譲計画について (町長)</p>	<p>ラベンダーハイツの民間移譲計画が推進されようとしているが、次の項目について伺いたい。 1 ラベンダーハイツは今後とも公設で運営すべきと考えるが、民間移譲にする理由について。 2 ラベンダーハイツの民間移譲は何年度までに実施されるのか。また職員との協議の経過について。 3 ラベンダーハイツの民間移譲は、行政としての福祉の心を放棄することになると考えるが。</p>
<p>2 医療費の無料化について (町長)</p>	<p>町においても、医療費の無料化枠の拡大の要望を望む声が多いと考えるが、子育て支援の立場からも町として、中学校卒業するまで拡大してはと考えるが、今後の対応について伺いたい。</p>
<p>3 定住化促進対策について (町長)</p>	<p>町においても定住化促進の計画が策定されてはいるが、第5次総合計画の目標とする人口を維持する立場から見ると、魅力ある具体的な定住化促進の対策が必要と考えるが、今後の対応について伺いたい。</p>
<p>4 小規模多機能型居宅介護施設について (町長)</p>	<p>小規模多機能型居宅介護施設は、高齢者を24時間支えるための介護施設として最近利用されている。町においても今後、高齢者や一人暮らし世帯が増えることなどを考慮すれば、必要な施設であり、介護計画にも盛り込む必要があると考えるが、対応について伺いたい。</p>
<p>5 上富良野高校の存続について (教育長)</p>	<p>上富良野高校の存続は、普通科高校としての存続でこの間対応していたが、養護学校やあるいは介護や看護などの技術の習得ができ学べる高校として、存続を訴えることも必要と考えるが、対応について伺いたい。</p>